

デフレ再燃、懸念 リスク急上昇 内閣府試算

2008/12/13 朝日新聞 朝刊 7ページ 615文字

景気後退が長期化すれば、日本経済はデフレに逆戻りする懸念もある――。内閣府は12日発表した報告書「日本経済08―09」で、こう指摘した。06年7月以降、「現状はデフレではない」というのが政府の公式見解。報告書は、物価が下がり続けるデフレが再燃し、経済に深刻な悪影響を与える可能性を明示した。

報告書では、国際通貨基金(IMF)が提案している「デフレリスク指数」を、日本にあてはめて試算した。物価動向や株価、銀行貸し出しといった指標を合成して算出する指数により、デフレに陥る可能性は「高い」「中程度」「低い」「極めて低い」の4段階に分類される。07年は「極めて低い」の範囲に収まったが、08年は株価下落と円高のため、「中程度」とされる値に急上昇する見通しになったとしている。

物価が下がり続けて企業の売り上げが減ると、雇用情勢が悪化し、個人消費が鈍ってさらに物価が下がる、という負の連鎖に陥る可能性がある。今夏以降、原油価格が急落し、消費者物価指数や、企業間で売買されるモノの価格を示す国内企業物価指数の伸びは鈍化している。

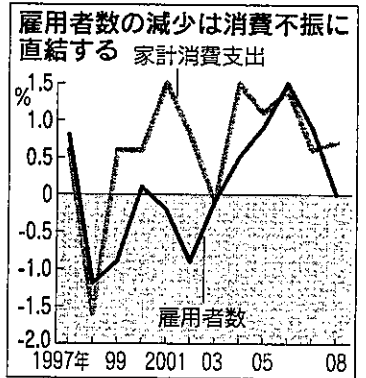
政府は「現状はデフレではない」との認識を示した後、後戻りの可能性がなくなったことを示す「脱却宣言」はできないままという中途半端な状態が続いている。昨年末ごろまで6年近く続いた戦後最長の好景気の間、働き手の賃金が伸び悩んだため消費は盛り上がり、デフレ懸念をぬぐい去ることができなかったためだ。(庄司将晃)

内閣府は十二日、日本経済の現状を分析したリポート「日本経済二〇〇八―〇九（ミニ白書）」を公表した。米国で金融危機が深刻になった九月以降、日本の景気も「急速に厳しさが増している」と指摘。雇用調整や海外経済の一段の減速といったリスク要因が多く、「景気は当面、悪化の方向に進む可能性が高い」

景気悪化進む可能性高く

内閣府ミニ白書

と厳しい認識を示した。ミニ白書の副題は「急退」。七月に公表した〇速に厳しさが増す景気後告（経済財政白書）の副題



「デフレ逆戻り」も懸念

は「リスクに立ち向かう日本経済」だった。半年で景気下振れのリスクが現実になり、現状を厳しく分析した。今の景気は緩やかに後退した第一段階が終わり、企業や家計の心理が冷え込み、生産の減少が加速する第二段階にあると指摘。国内で需給バランスが崩れれば、「デフレに逆戻りする懸念がある」とした。

12 / 13

日本経済新聞

朝刊 5角

景気ウォッチャー調査

(21年3月調査)

新聞記事

(21. 4. 9朝刊)

日経 / 面

内閣府が8日発表した3月の景気ウォッチャー調査によると、街角の景気実感を3カ月前と比較した現状判断指数は前月に比べ9.0ポイント上昇して28.4となった。現状判断指数は3カ月連続で改善した。高速道路料金引き下げや、定額給付金などにより個人消費の一部に動きが出たことが主因という。

現状判断の上昇幅は平成14年3月(10.8ポイント)以来過去

3カ月連続で改善

街角景気、給付金など好感

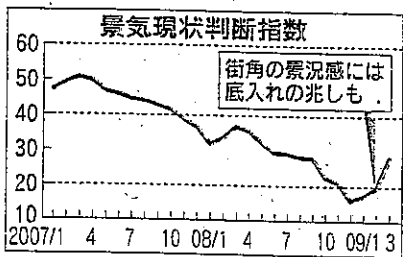
2番目の大きさを記録し、家計、企業、雇用関連のすべての指数が2月より上昇した。景気ウォッチャーの見方を受けた内閣府の総合判断も「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになってい」となり、2カ月連続で上方修正された。

ただ、今回の調査で現状判断指数が上昇したのは、景気の一段の悪化を示す「悪くなっている」が22カ月連続で下回った。

2〜3カ月前を見る先行判断指数も前月比9.3ポイント上昇の35.8となったが、こちらも50

内閣府が8日発表した3月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月に比べて9.0ポイント、四半期3カ月連続で改善した。一部の企業で受注が回復したほか、定額給付金や高速道路料金引き下げなどの政策効果で消費者心理がやや持ち直した。急速な悪化に下げ止まり感

街角景気、下げ止まり?



が出つつあるが、景気が「良くなった」との回答

「悪化テンポ、より緩やか」

3月判断、連続で上方修正

は依然少ない。調査は三月二十五日三十一日に実施、企業経営者や小売店主ら約二千人が回答した。内閣府は今回の結果をもとに基調判断を「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」とした。前月の「このところ悪化のテンポが緩やか」から二カ月連続で上方修正した。

街の景況感に薄目 内閣府調査

内閣府は8日、商店主やタクシー運転手らに景気動向を尋ねた3月の景気ウォッチャー調査を発表した。定額給付金や高速道路料金の値下げ効果への期待もあり、景気の実況認識を示す指数は3カ月連続で前月より上昇した。

景気の実況を3カ月前と比較して判断した指数は、前月比9.0ポイント高い28.4。過去最低だった08年12月の15.9を底に3カ月連続で改善した。景気が「悪くなっている」とした回答が減り、「変わらな」が増えたことが指数を押し上げた。

3月は定額給付金の支給が始まり、月末には高速道路料金の値下げも始まった。回答者からは「定額給付金で必需品以外も買客が増えている」(中国地方の衣料品専門店)、「高速道路料金引き下げなどで客の旅行意欲が活発化している」(北陸の旅行会社)とのコメントがあった。

一方で、景気が「悪くなっている」「やや悪くなっている」とする回答は全体の6割。「最小限の費用で済ませる傾向が強く、進歩など新生活用品の需要は縮小傾向」(東北の住関連専門店)、「製造業の求人はほとんどなく、週休3〜4日の企業も多い」(北関東の求人情報誌製作会社)など厳しい声も多い。内閣府は「景気底打ちとはいえない状況だ」という。

朝日 7 面

(21年3月調査)

新聞記事

(21. 4. 9朝刊)

フジサンケイ
ビジネスアイ 2 面

街角判断 続く改善、「底打ち」まだ

内閣府が8日発表した3月の景気ウォッチャー調査は、街角の景気実感を3カ月前と比較した現状判断指数が、前月に比べ9.0ポイント上昇して28.4となり、3カ月連続で改善した。高速道路料金の引き下げや定額給付金による需要増が主因という。ただ、悪化基調に変わりはなく、内閣府は「景気が底を打ったとはみていない」としており、底ばい状態が続くそう。

現状判断の上昇幅は2002年3月(10.8ポイント上昇)以来過去2番目の大きさを記録し、家計、企業、雇用関連のすべての指数が2月より上昇した。

景気ウォッチャーの見方を受けた内閣府の総合判断も「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」となり、2カ月連続で上方修正された。

しかし、現状判断指数が上昇したのは景気の一段の悪化を示す「悪くなっている」の回答者が減った一方、悪化傾向が「変わらない」と答えた人が多かったためだ。

実際、全体の6割以上が「やや悪くなっている」「悪くなっている」と答えているほか、景気の横ばいを示す「50」の水準は24カ月連続で下回ったまま

だ。景気ウォッチャーのコメントも「新生活の開始にあたって家電一式をそろえる客が減った」(中国地区の家電量販店)、「受注・販売が低迷したままの企業が多い」(北関東地区の経営コンサルタント)といった声が目立ち、雇用についても「自動車関連で現場の人員削減が進んでいる」(東海の人材派遣会社)など大きな変化は見られなかった。

2～3カ月先を見る先行き判断指数も、前月比9.3ポイント上昇の35.8となったが、こちらも50を22カ月連続で下回った。

読売 > 面

街角景気 3か月連続改善

内閣府が8日発表した3月の「景気ウォッチャー調査」によると、タクシー運転手や小売店主などに聞いた街角の景気の実況を3カ月前と比べた判断指数(DI)は2月より9.0ポイント上昇し28.4と3カ月連続で改善した。高速道路の通行料金の引き下げや定額給付金の支給が一部地域で始まったことなどから、これまで「景況感悪化」と判断していた人が減ったのが主因だ。

3月9日ポイント上昇28.4

内閣府は景気の実況についての基調判断を、前月の「このところ悪化のテンポが緩やかになっている」から「悪化のテンポがより緩やかになっている」と上方修正した。

景気の良い、悪いを点数化した指数で、50より大きいほど景況感が良いことを示す。今回は「悪化」の「やや悪化」の答えが合わせて60%を超えており、内閣府は「景気が底を打った」という判断はしていないという。

指数を構成する家計、企業、雇用の指数はいずれも前月から上昇した。2、3カ月前の景気見通しを示す先行きの判断DIも前月より9.3ポイント上昇して35.8と3カ月連続で改善した。地域別では全地域で景況感が改善した。

内閣府、基調判断を上方修正

(21年3月調査)

新聞記事

(21. 4. 9朝刊)

3月 街角景況

3カ月連続で改善

高速値下げなど効果

内閣府が8日発表した3月の景気ウォッチャー調査は、足元の景況感を示す現状判断DIが28・4と前月より9・0ポイント上昇し、3カ月続けて改善した。高速道路料金引き下げや定額給付金の給付開始が一部で消費につながったほか、自動車関連業界などで受注に回復傾

向が見られた。内閣府では「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」との基調判断を示し、「このところ悪化のテンポが緩やかになっている」という前月の判断から上方修正した。

この調査はタクシー運

転手や小売店関係者、製造業関係者などに街角の景況感を聞いたもの。3月は家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の3指標が3カ月連続ですべて前月より改善し、これらを総合した現状判断DIは02年3月の10・8ポイントに次いで2番目の上げ幅となった。「3月になって受注量の下降が止まってきており、少しずつ上がる傾向にある」（北関東地区のプラスチック製品メーカー）など受注の回復を示す声があったほか、高速道路料金の引き下げに伴う客数の増加も一部で見られた。だが、回答の分布を見ると「3カ月前に比べて悪くなっている」の割合が依然多く、実際に「雲細企業の資金繰りの悪化は依然深刻である」（九州の金融業）など厳しい声も訴えられた。内閣府では「底打ちしたとは言えない」としている。

街角景況

3カ月連続改善

3月 高速値下げなど効果

内閣府が8日発表した3月の景気ウォッチャー調査は、街角の景況感を示す現状判断DIが28・4と前月より9・0ポイント上昇し、3カ月連続で改善した。高速道路料金引き下げや定額給付金支給などの効果で、個人消費の一部とは見え、明るい動きが出始めたためだ。上げ幅は2002年3月（10・8ポイント）に次ぐ、過去3番目の大きさ。

内閣府の総合判断は「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかに

なっている」と2カ月前の景況ウォッチャー調査は、現状判断DIは08年8月（18・3）の水準まで戻った。

項目別で見ると家計、企業、雇用のすべてが前月を上回ったほか、地域別に見ても全十一地域が上昇。ただ内閣府は消費者心理について「約六割が悪化を回答しており、底を打ったとまでは考えていない」としている。

景気ウォッチャーからは「高速道路料金の引き下げで給油客が増えた。浮いたお金で外食したなどの声が増えた」（九州・ガソリ

ンスタンド）などという指摘があった。

◎景気実感3カ月連続で上昇 3月、内閣府調査

内閣府が八日発表した三月の景気ウォッチャー調査は、街角の景気実感を三カ月前と比較した現状判断指数が前月比九・〇ポイント上昇し二八・四となった。三カ月連続の上昇。

高速道路料金の引き下げや定額給付金支給などの効果で、個人消費の一部に明るい動きが出ているためという。上昇幅は二〇〇二年三月(一〇・八ポイント上昇)に次ぎ、過去二番目の大きさだった。

今回の総合判断は「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」と二カ月連続で上方修正。ただ内閣府は「約六割が悪化と回答しており、(景気悪化の)底を打ったとまでは考えてない」と分析している。

二、三カ月先の景気の先行きを示す先行き判断指数は、九・三ポイント上昇し三五・八だった。

(了)04/08 15:48 経済
【共同通信】

時事通信

2009/04/08 16:51:03

16:45 ◎街角景気、3カ月連続改善＝一部に定額給付金効果－内閣府

内閣府は8日、3月の景気ウォッチャー調査を発表した。3カ月前と比べた街角の景況感を示す現状判断DI(指数)は前月比9.0ポイント上昇の28.4と大幅改善した。2005年1-6月(6カ月連続)以来の3カ月連続改善で、上昇幅も過去2番目。消費者の購買態度は慎重姿勢が続いているが、高速道路料金引き下げや定額給付金による需要効果が一部で見られたのが主因。

内閣府は総合判断を「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」とし、2カ月連続で上方修正した。現状DIの水準は米金融危機発生前の08年8月(28.3)に戻ったが、景気の良い悪いの境目となる50を大幅に下回る状況。内閣府は景気の現状を「底打ちとは判断できない」とした。

個別項目では、家計、企業、雇用のすべてが8ポイントを上回る大幅改善を示した。厳しい情勢が続く雇用は、「良い」や「やや良い」の判断はほとんどなかったが、現状を「変わらない」とする回答が増えたため、DIが上昇した。

一方、2-3カ月先を示す先行き判断DIも過去最高の9.3ポイント上昇の35.8と3カ月連続で改善した。調査は小売店主やタクシー運転手ら2050人を対象に3月下旬に実施した。(了)

[/20090408X044]



記事を印刷する | ウィンドウを閉じる

UPDATE1: 現状判断DIIは3カ月連続で上昇、 判断を上方修正＝3月景気ウォッチャー調査

2009年 04月 08日 14:46 JST

【東京 8日 ロイター】内閣府が発表した3月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断DIIは3カ月連続で上昇した。現状と先行きの両方で、家計、企業、雇用関連のすべてのDIIが上昇した。内閣府によると、景気ウォッチャーの判断は「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」となり、2カ月連続で上方修正された。

現状判断は28.4となり前月比で9.0ポイント上昇したが、横ばいを示す50の水準は24カ月連続で下回った。家計関連では高速道路料金の引き下げや定額給付金による需要増加があり、一部企業では受注の回復がみられた。雇用関連でも、前月に比べて「悪化」と判断する人が減少した。

調査では「3月になって受注量の下降が止まってきており、少しずつ上がる傾向にある」（北関東、プラスチック製品製造業）、「客の話によると、定額給付金の使い道は身の回り品の購入という声が聞かれ、やや良くなる」（九州、その他専門店）とのコメントが出ていた。

2、3カ月先を見る先行き判断DIIは同35.8で、9.3ポイント上昇。50を22カ月連続で下回った。家計では住宅ローン減税、企業部門では厳しいながらも在庫調整の進展や受注回復への期待感も出ている。「3カ月先には、客からの発注量が増加する予定である。それでも、当社の損益分岐点を超える売り上げにはなっていない」（東海、輸送用機械器具製造業）との声があった。

地域別にみると現状と先行きともに、全国11地域で上昇した。

調査期間は毎月25日から月末までとなっている。

（ロイター日本語ニュース 寺脇 麻理記者）

(mari.terawaki@thomsonreuters.com; 03-6441-1835; ロイターメッセージング:
mari.terawaki.reuters.com@reuters.net)

© Copyright Thomson Reuters 2009. All rights reserved. ロイターが事前に書面により承認した場合を除き、ロイター・コンテンツを再発行や再配布すること（キャッシュ、フレームまたは類似の方法による場合を含む）は、明示的に禁止されています。Reutersおよび地球をデザインしたマークは、登録商標であり、全世界のロイター・グループの商標となっています。

Thomson Reuters journalists are subject to an Editorial Handbook which requires fair presentation and disclosure of relevant interests.

景気の実感 指数が大幅上昇



4月8日 16時43分

働く人たちに景気の実感を聞く先月の景気ウォッチャー調査は、高速道路料金の値下げなどを背景に、景気がよいか悪いかを示す指数が前の月に比べて大幅に上昇し、内閣府では景気悪化のテンポが、より緩やかになっていると分析しています。

この調査は、内閣府が、全国の小売店や企業の現場で働いている2000人余りを対象に、3か月前に比べた景気の実感を聞き、結果を指数で示したもので、50を上回れば景気がよくなっている、下回れば悪くなっていると判断されます。先月の調査は、景気の実感を示す指数が28.4と、前の月よりも9ポイント上昇し、比較できる平成13年8月以来で2番目の大幅な上昇となりました。指数の上昇は3か月連続です。これは、先月から始まった高速道路料金の値下げにより、観光地などの人出が増えたとする声や、素材産業など一部の企業で受注の回復が見込まれるという声があり、「景気が悪くなった」と答えた人も減ったことなどによるものです。一方で、デパートなどで高額商品の売れ行きがよくないという声もあり、指数の水準は依然として低い状態です。先行きを示す指数も前の月よりも9.3ポイント上昇し、35.8となりました。内閣府では、景気はきわめて厳しい状況にはあるが、悪化のテンポはより緩やかになっていると分析しています。

3月街角景気：現状判断DIは3カ月連続改善—昨夏の水準に戻す(2)

4月8日(ブルームバーグ)：スーパーや家電量販店の店長、ガソリンスタンドの営業担当者など、景気の動きを肌で感じやすい職業に就いている人の景気の現状判断は、3月に3カ月連続で改善した。上昇幅は過去2番目の大きさとなり、リーマンショック前の昨年夏の水準まで戻した。消費者の購買態度は依然慎重だが、高速道路料金の引き下げや定額給付金の給付開始による需要増が一部で見られた。

内閣府が8日発表した3月の景気ウォッチャー(街角景気)調査によると、3カ月前と比べた景気の現状判断DIは28.4と2月の19.4から上昇し、昨年7月(29.3)以来の水準となった。ただし、DIは景気判断の分かれ目となる50を24カ月連続で下回った。また、2-3カ月先の景気を示す先行き判断DIは35.8と2月の26.5を上回った。ブルームバーグ・ニュースのエコノミスト調査では、現状判断DIの予想中央値は20.9だった。

景気ウォッチャー調査に基づく判断は「景気の現状は極めて厳しいものの、悪化のテンポがより緩やかになっている」となり、前月からやや上方修正された。昨年夏以降の政府による景気対策に加え、10日にまとめる追加経済対策では、非正規労働者への新たな安全網の構築や介護・地域医療に関する国民の不安の除去などが盛り込まれる見通しで、引き続き消費者心理を下支えするとみられる。

JPモルガン証券の足立正道シニアエコノミストは統計発表前のレポートで、現状判断DIは「3カ月連続の改善となろう」としていた。また、景気ウォッチャー調査では家計動向関連のウエートが高くことに触れ「定額給付金や高速道路料金値下げの影響が比較的大きく出るものと思われる」としていた。足立氏はまた、3月の商工中金中小企業業況判断が予想を上回り改善したことを挙げ「日本経済は最悪期を脱した可能性が高まっている」とみる。

3月の現状を示すコメントとしては、「客の話によると、定額給付金の使い道は身の回り品の購入という声が聞かれ、やや良くなる」(九州：その他専門店(コーヒー豆))、「高速料金値下げで、走行後の給油客が増え、浮いたお金で外食した等の声が聞かれた」(九州：ガソリンスタンド)、「新生活が始まるに当たり、いつもながら家電等も一式そろえられる客が多いのだが、今年はあるものをできる限り使うという客が多かった」(四国：家電量販店)、などが寄せられた。

同調査は、北海道、東北、北関東、南関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄の 11 地域で、小売り、飲食、サービス、住宅などの家計関連、製造業・非製造業の企業関連、雇用関連の3つの経済活動について、景気の変化を反映しやすい仕事に携わる 2050 人を対象に実施した。今回の調査は3月 25 日から月末にかけて行われ、有効回答率は 90.0%。

記事に関する記者への問い合わせ先: 東京 伊藤辰雄 Tatsuo Ito
tito2@bloomberg.net

更新日時 : 2009/04/08 15:10 JST

北海道新聞 Hokkaido Shinbun Press

ANAに乗って、 ファイターズを応援しよう! 2.23(月) 5.31(日)

FUNANA キャンペーン

サイト内検索
ニュースから

- ホーム | 天気 | 動画 | ブログ | 観光 | 温泉 | グルメ | イベント | スキー | 医療 | 住まい探し | くるま | フライダグ | 移住 | 通販 | サイトマップ

社会 | スポーツ | コンサドレ | ファイターズ | レラカムイ | 政治 | 【経済】 | 新商品 | 話題 | 生活 | 札幌圏 | 地域 | 国際 | 教育 | 農林水産 | 環境・自然・科学 | 文化 | 芸能 | 社説 | 卓上四季 | English | ヘッドライン |

文字サイズ: 大 | 中 | 標準

経済

3月の街角景況 過去2番目の上昇幅 (04/08 18:31, 04/09 08:46更新)

内閣府が八日発表した三月の景気ウオッチャー調査によると、三カ月前と比較した街角の景況感を示す現状判断指数は前月比九・〇ポイント上昇の二八・四だった。三カ月連続の上昇で、データが比較できる二〇〇一年八月以降では二番目の上昇幅。大きく落ち込んだ景況感に、持ち直しの兆しもほのかに見え始めた。

指数は、米金融危機前となる昨年八月の二八・三と同水準に戻り、内閣府は基調判断を「悪化のテンポがより緩やかになっている」と二カ月連続で上方修正した。高速道路料金の引き下げや定額給付金の給付開始が好感され、企業関連では受注が回復傾向がみられるという。

ただ、改善したのは景況感で「悪い」の回答割合が減り、「変わらない」との判断が増えたため、「良い」は大きく増えていない。三月の現状判断指数は「悪い」「やや悪い」がまだ全体の六割超を占め、内閣府は「景気が底を打ったとはみていない」と慎重だ。

一方、二〜三カ月先の景況感を示す先行き判断指数は九・三ポイント上昇の三五・八と過去最大の上昇幅で、今後も景況感の改善が続くことをうかがわせた。

道内の現状判断指数は五・四ポイント上昇の二八・六。「高速道路値下げで、週末は観光客数も、売り上げも15%伸びた」(土産店)との声があった一方で、「送別会の来客数は前年の半分になった」(レストラン)、「求人件数が前年比37%減って、特に建設業は半減」(求人情報誌)と厳しい声も根強い。

Clare 都心の静寂。中央区北2条西20丁目。
クレアシティ円山北2条

【広告】エコドライブで燃費向上! 出光SSがお手伝いしています(出光興産)
【広告】~サクラ咲いたら書店へいこう! ~第57回学習図書まつり 3月15日~実施中

Ads by Google

- 倒産寸前 中小企業 再生 kaishya-saisei.net
- 妻が役員で倒産すると妻の収入も失う 返済対策で始まる倒産回避と事業再生
- 札幌の新築分譲マンション www.miyakawa-kensetsu.co.jp
- 宮川建設が誇る札幌の新築分譲 マンションエクセルシオールシリーズ
- 超割国内航空券ALNJA www.uniso.co.jp/unisoindex.htm
- 変更自由超割国内航空券 78旅行社商品を更に割引提供
- 新築マンション限定サイト www.anju-sapporo.jp/
- 札幌アンジュは進化した検索サイト 物件専用サイトにさくさく進める
- 日本-世界経済動向レポート eagle-hit.com
- 2009年の日本経済を大胆予測。暴落と恐慌寸前! 極秘情報公開中

経済 記事一覧

- ▼9日
 - 代位弁済額56%増 昨年度、過去最高341億円 道内(09:21)
 - ドラッグ新会社の社長はアインから きょう発表 セブン側70%出資(07:51)
 - コープさっぽろ、値下げ1500品に拡大 集客効果大きく戦略強化(07:45)
 - 3月の街角景況 過去2番目の上昇幅(08:46)
- ▼8日
 - GM、新型車でアピール NY自動車ショー開幕 (04/08)
 - シャープ赤字1300億円に拡大 液晶生産を海外移転へ (04/08)

GIVE **HIS**
もっと世界をたのしもう

新生活のおともは、北海道新聞!

北海道新聞 道新スポーツ 購読お申し込み

EXCELSIOR 札幌
10万円からスタート

専門学校進学相談会
4/22(水) 保護者説明会も同時開催!

株式会社日経平均 (09:38, 円):
8,792.10(+157.09)
最新情報は画面を更新して下さい

丸井今井 特集一覧

- 復活探る 丸井今井
- 丸井今井 関連ニュース
- 「丸井さん」へ 復活への視点
- 【緊急レポート】激震 丸井今井破綻

特選! 北海道ネット通販

上田精肉店のエソシカ肉
大雪山系や日高山脈でたくましく育つ野生エソシカ肉は、飼育動物と違い「純天然食材」。カルビを独自のタレで味付けしたオリジナルメニューをどうぞ。【375g】1470円

企画/特集

札幌へ 北海道新幹線

関連リンク

米金融危機(共同通信) 道新道職フェア

丸井今井 特集一覧

- 復活探る 丸井今井
- 丸井今井 関連ニュース
- 「丸井さん」へ 復活への視点
- 【緊急レポート】激震 丸井今井破綻

倒産寸前 中小企業 再生
役員である配偶者の収入も同時に失う倒産危機の克服はリスクジュールから
www.kaishya-saisei.com

札幌の新築分譲マンション
宮川建設が誇る札幌の新築分譲 マンションエクセルシオールシリーズ
www.miyakawa-kensetsu.co.jp

新築マンション限定サイト
札幌アンジュは進化した検索サイト 物件専用サ 04/09 9:38